



認知症ケア医療介護連携体制の構築事業 H30年度実績報告

三重大学医学部附属病院 認知症センター

◇目 的

三重県もの忘れネットワークにおける多職種間の連携・協働を進めるために、「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業（平成30年度）」の中で、各地域で病診連携、医福連携を展開していくための基盤整備を行うことを目的とし、同時に「みえる手帳」の普及啓発活動を進めました。

◇対象者

三重県内のモデル地区在住で、認知症の疑いのある方

◇方 法

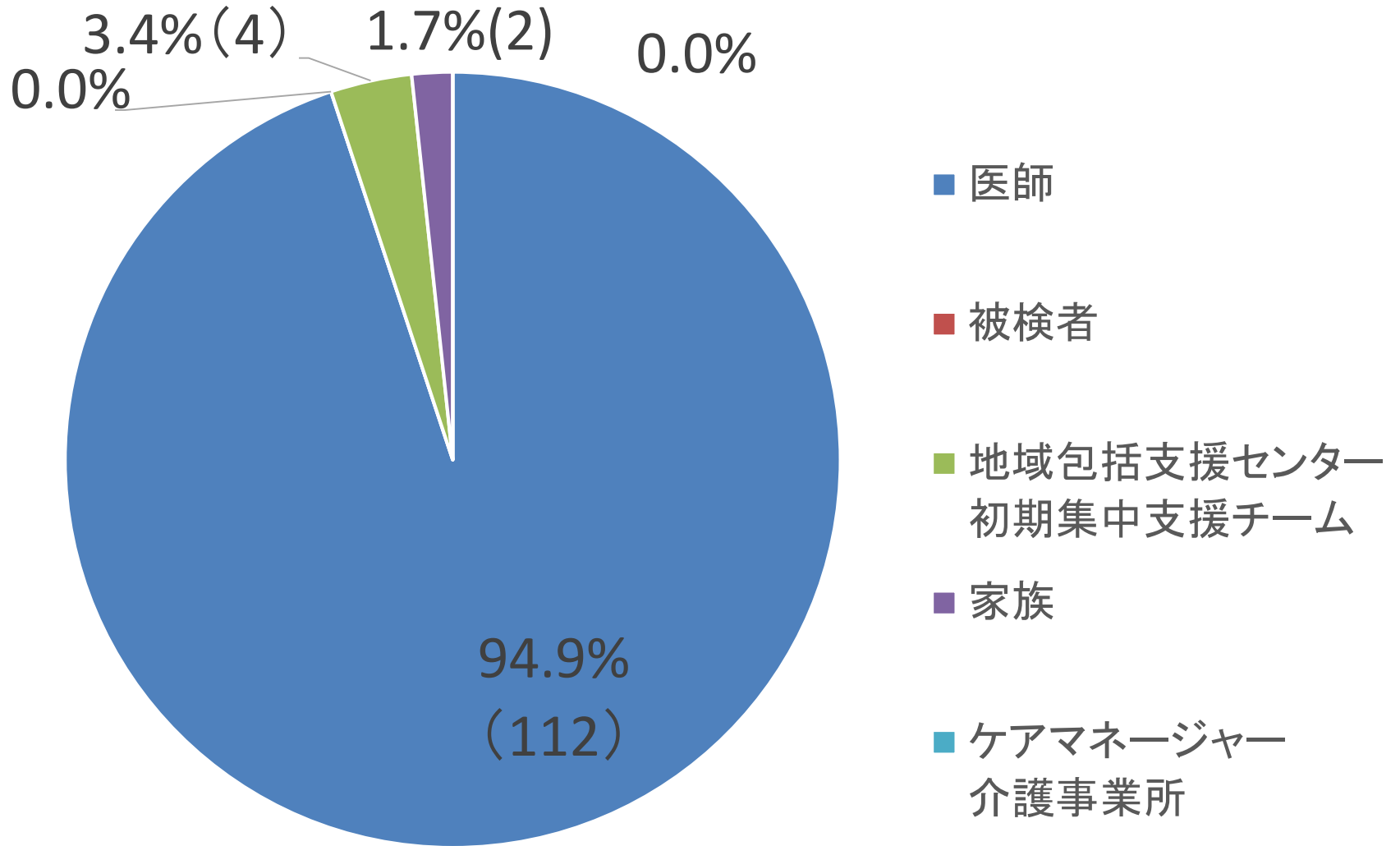
三重県内のモデル地区(桑名市、木曾岬町、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、大台町、明和町、伊勢市、玉城町)で事業を実施します。かかりつけ医からスクリーニングの依頼を受け、認知症連携パス推進員がITスクリーニングによる認知症機能評価を行います。当センターの認知症専門医によるコメントをお返しし、認知症の早期発見・対応の判断資料として活用していただきます。必要に応じて「みえる手帳」を病診連携・医福連携に活用するよう啓発活動を行います。

◇結 果

スクリーニング実施数は118名で、医師からのスクリーニング希望（94.9%）が多かった。男女比は男性39.8% 女性60.2%でした。介護保険の要介護度は、未申請68.6%でお元気な方が多く、家族構成は同居家族のいる世帯（70.4%）が多かったです。BPSDがある方13.6%の内容は、幻覚、妄想、易刺激性など初期～中期によく見られる症状が多かったです。

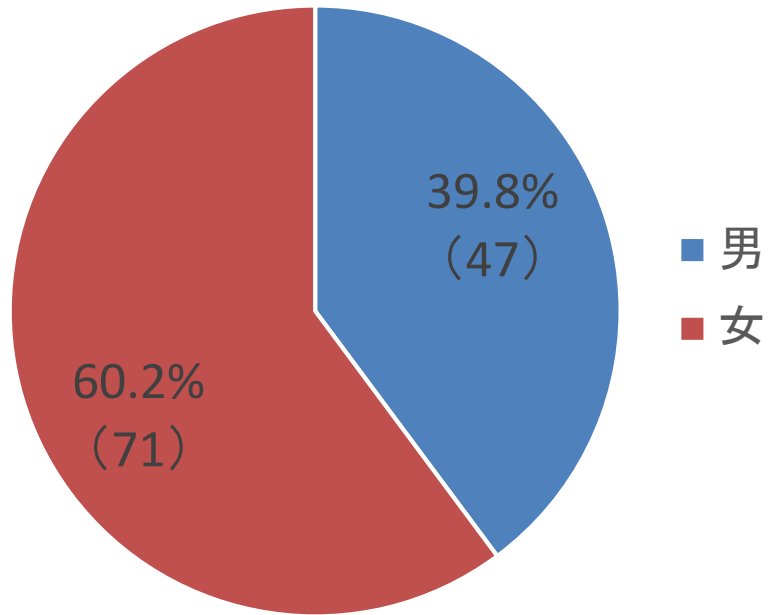
スクリーニング結果は、専門医療機関受診推奨46.6%で、そのうちかかりつけ医から専門医療機関へ紹介されたのは80.0%でした。専門医療機関での鑑別診断結果は、受診者の59.4%が認知症の診断でした。

スクリーニングの相談経路 (N=118)

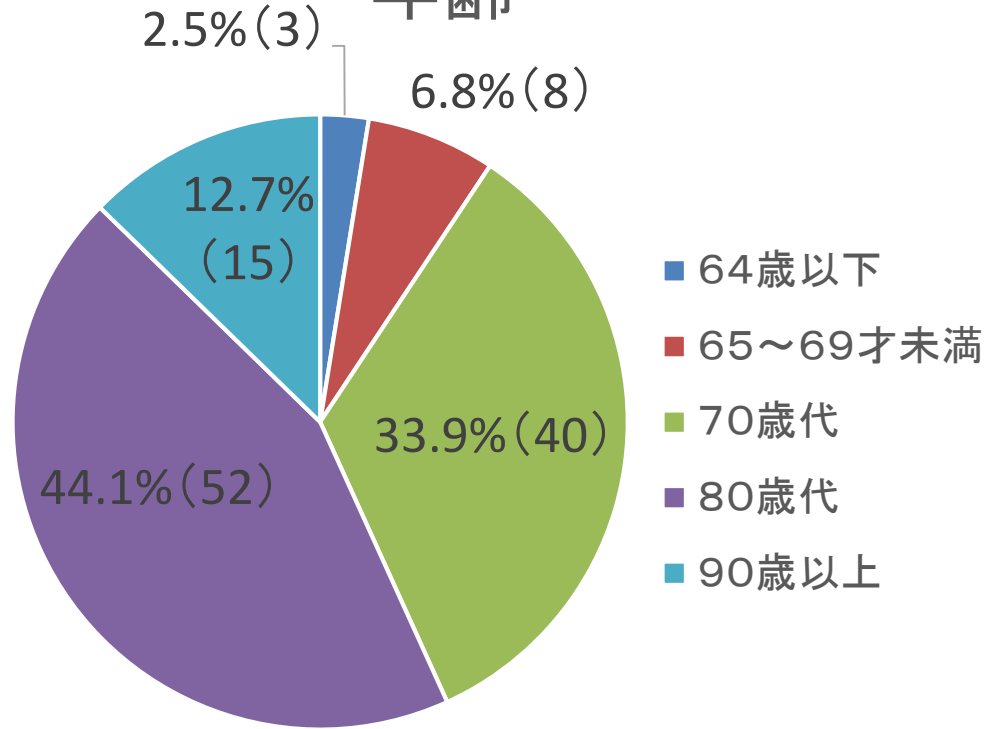


患者の性別と年齢 (N=118)

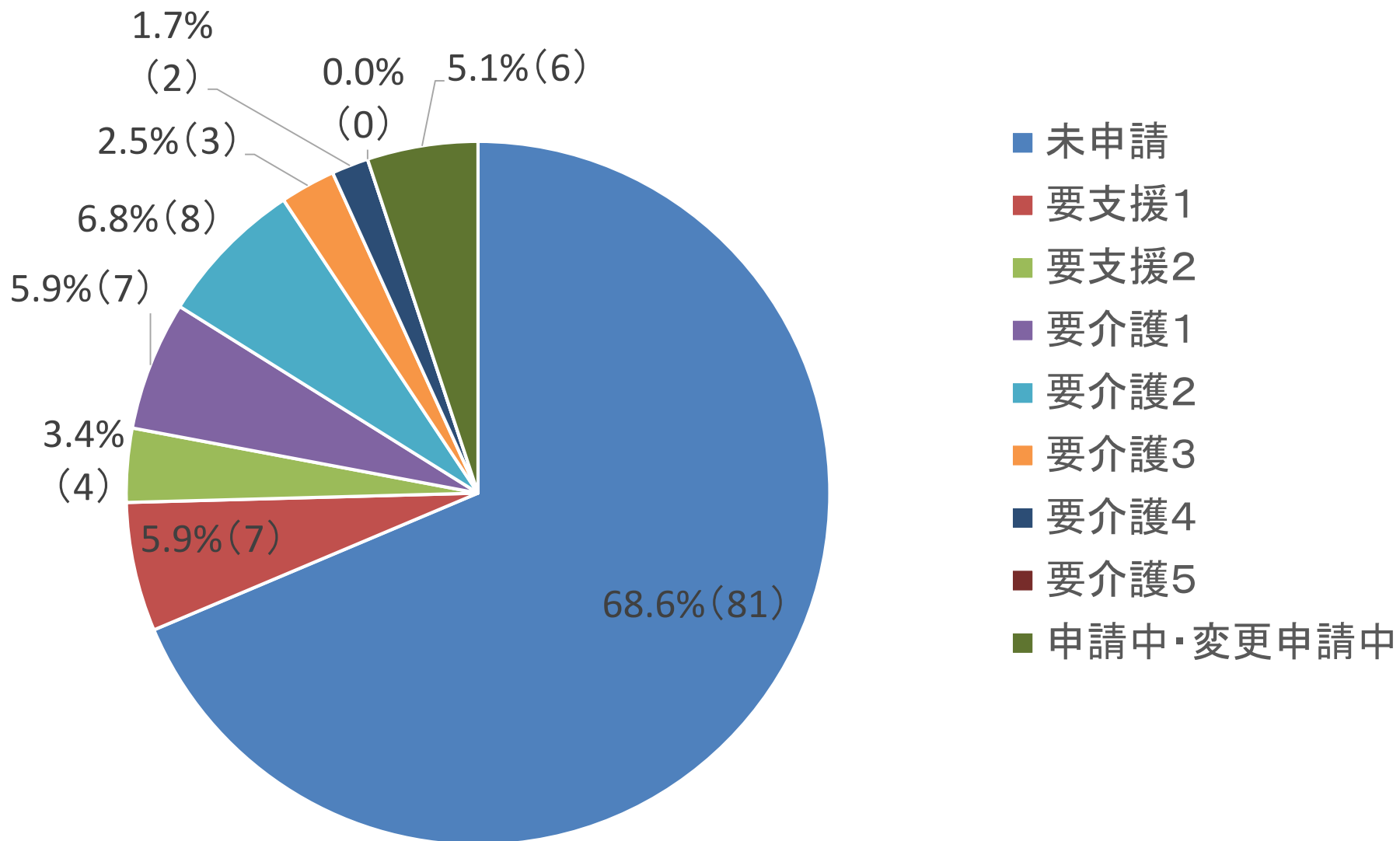
性別



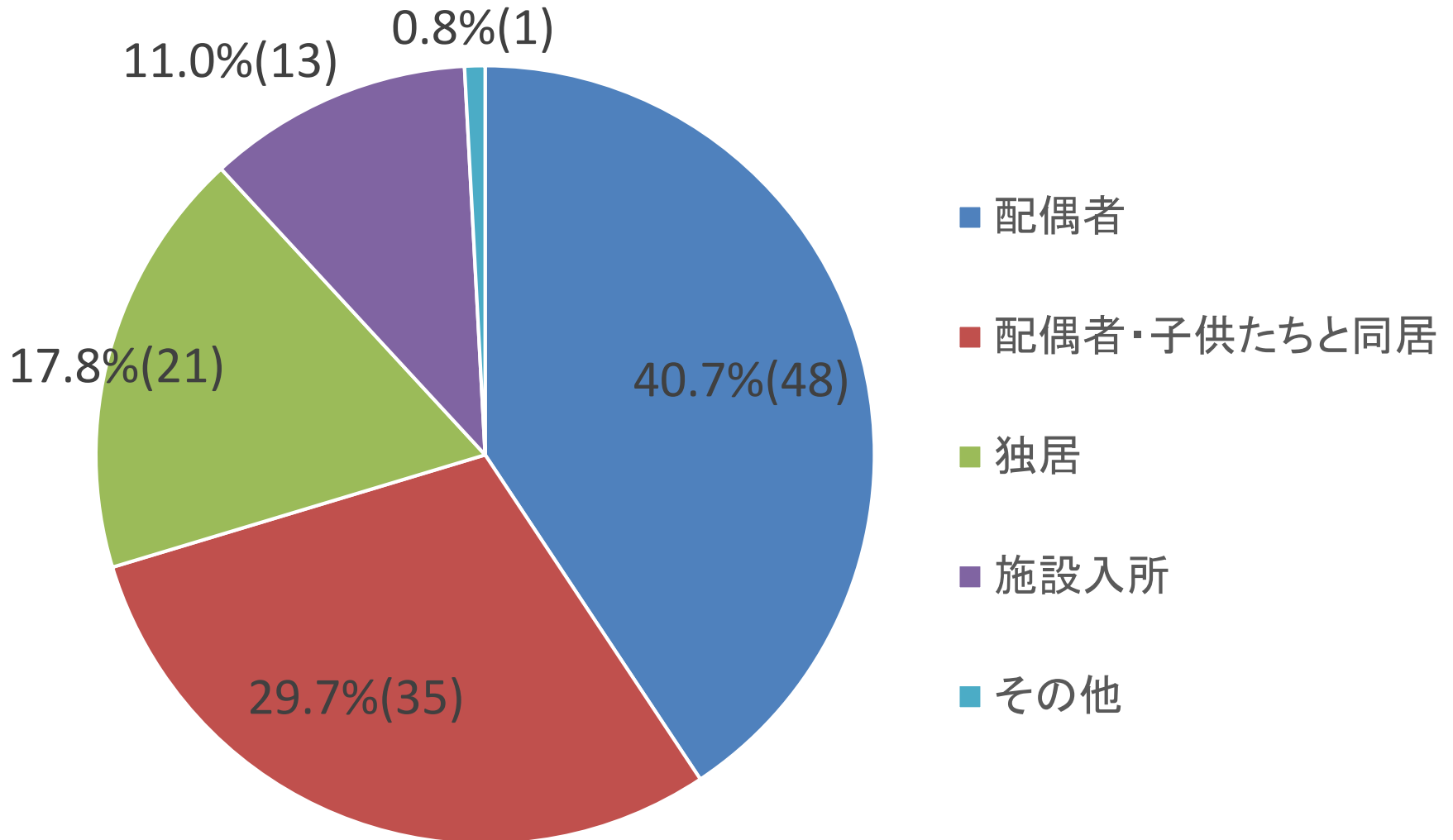
年齢



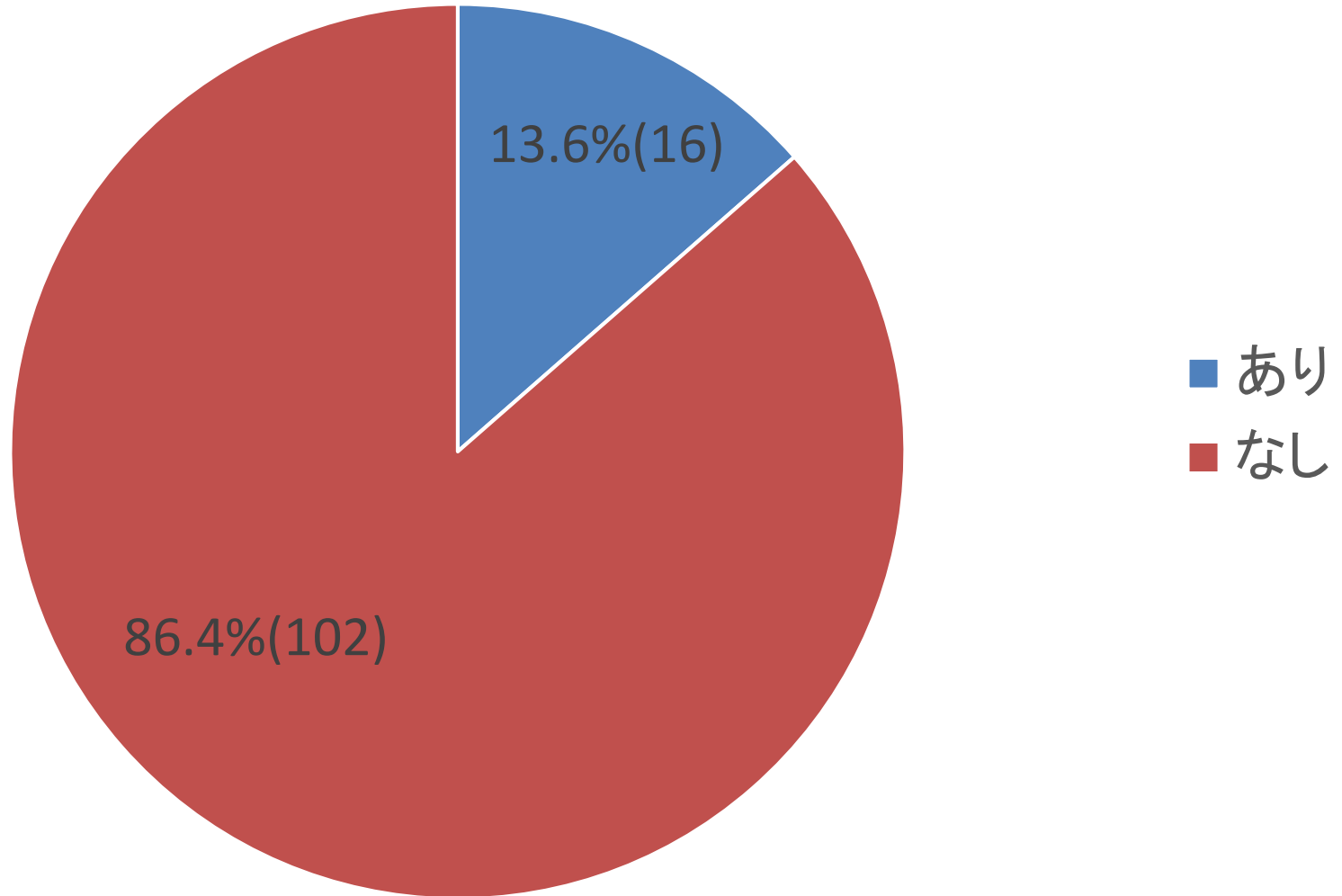
患者の要介護度 (N=118)



家族構成 (N=118)

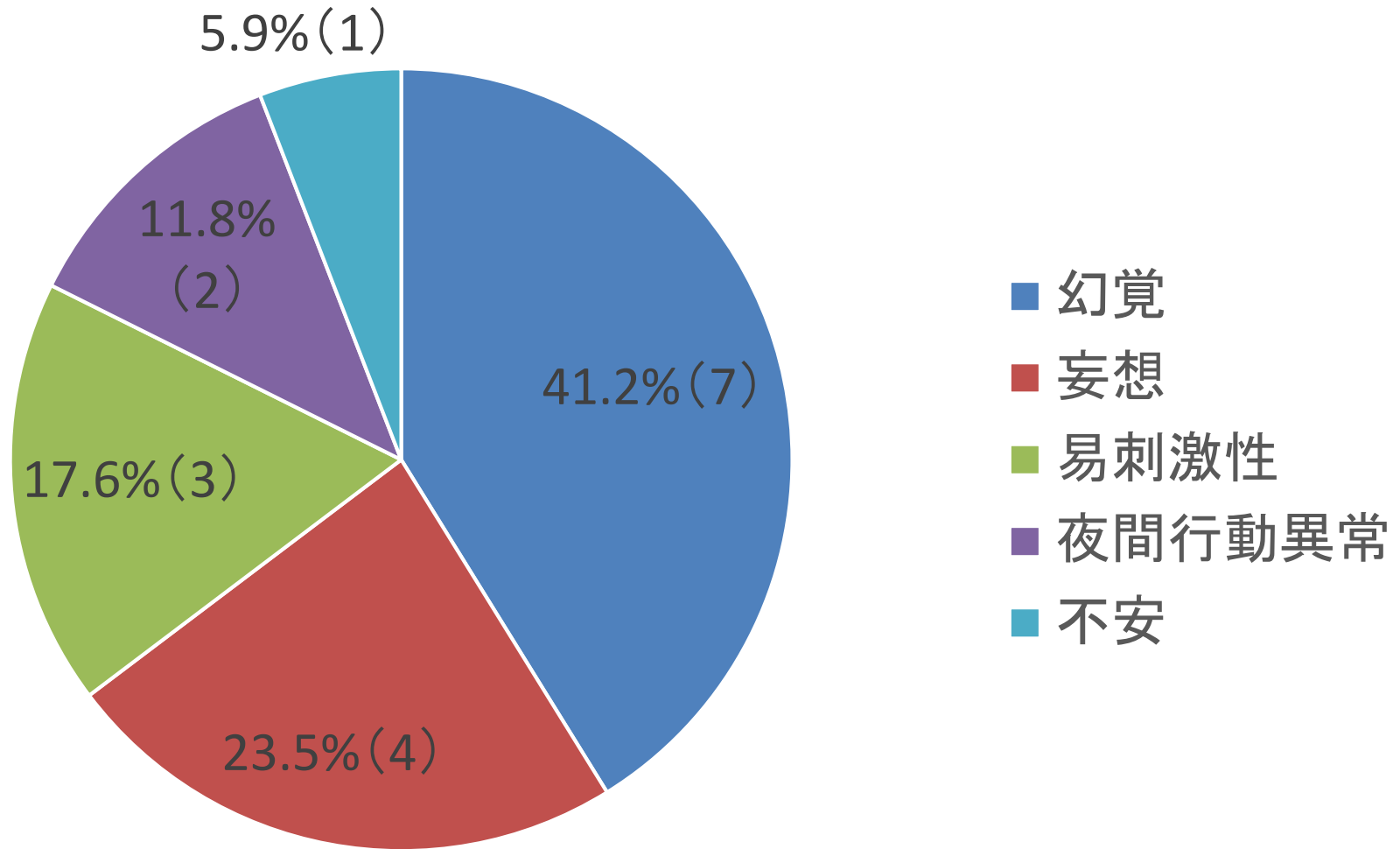


BPSDの有無 (N=118)



BPSDの内容 (N=17)

※複数回答あり

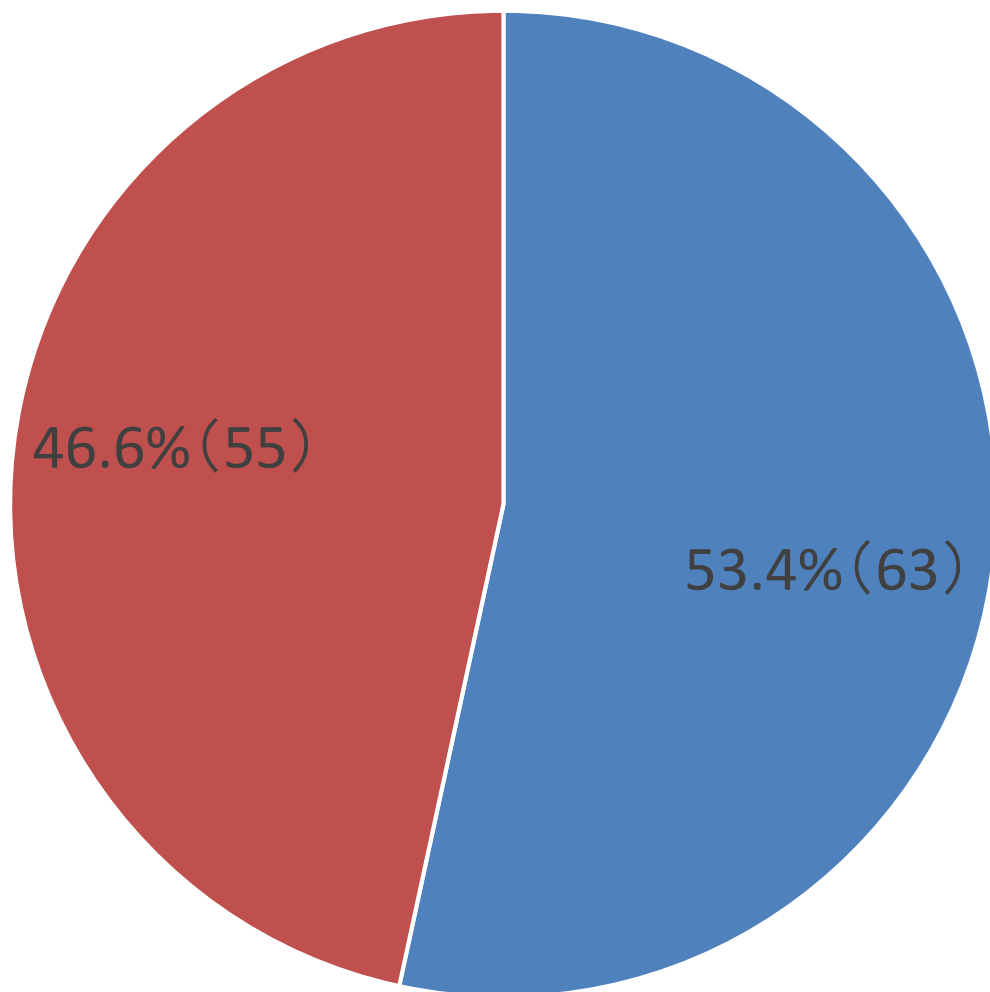


※聞き取りで挙げた内容のみ掲載しています

スクリーニング結果 (N=118) 平均得点

	全体
MMSE	23.5 ± 4.7
BFB	38.5 ± 8.2
AOS	37.8 ± 25.2
ADL(%)	92.9 ± 15.3

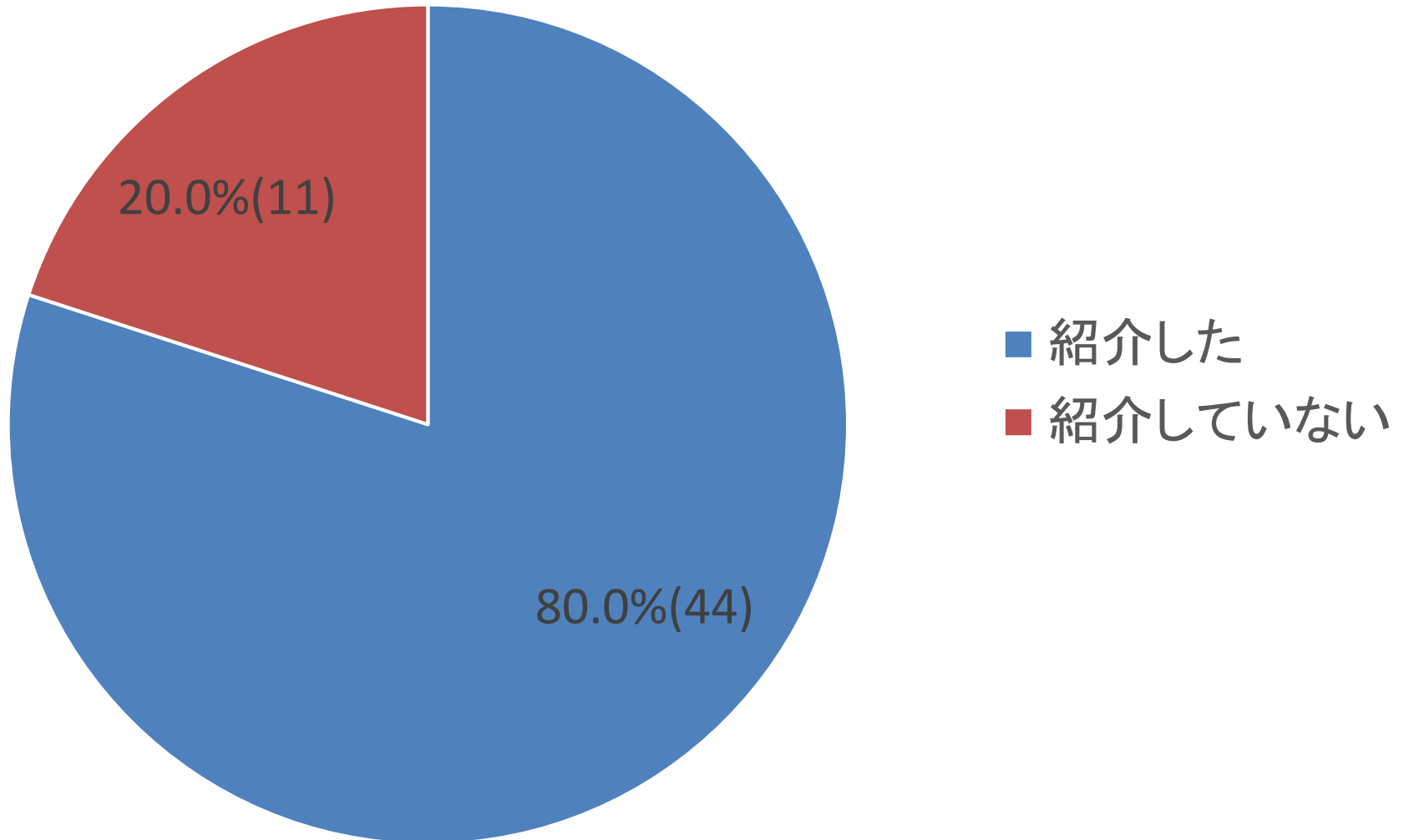
コメント結果 (N=118)



■ 経過観察

■ 専門医療機関受診推奨

専門医療機関受診推奨群の紹介の有無 (N=55)



鑑別診断結果 (N=37)

